

今回は、ワーカーズの活動を知ってもらうために地域で展開した活動を組合員わくわ～く編集委員が取材しました。

炊き出し訓練を通して、地域の拠点としてのワーカーズを知ってもらうために！

3月1日、回転木馬にて「災害はいつ起こるか分からない」、もしもの時に備え拠点となれるよう情報発信を続ける活動として、炊き出し訓練とビニール袋クッキングのデモンストレーションを開催しました。鰯缶、ツナ缶を使った具沢山のけんちん汁とわかめおにぎり、デモンストレーションではケチャップライス・ポーチドエッグ・プリンを作りました。当日は暖かく、地域の方々が集まり、いざという時の調理方法や日頃から回転備蓄をして備えることの大切さなどをお話ししながら、ゆっくり味わっていただきました。W.Coの仲間が集まって開催することが出来、地域の拠点として活動を伝えることができました。

今後も定期的に開催していきます。



つばめカフェ みんなで嚥下（のみこみ）を考えよう  
～嚥下ってなあに？～ 安全に美味しく食べるため

昨年2月に開催した居場所交流会から、食のある居場所「灯 ro」（ともろう）が立ち上り、11月30日デポーおおたかの森こだちにて、つばめカフェ「みんなで嚥下（のみこみ）を考えよう」を開催しました。

誤嚥の原因は加齢や認知症だけでなく心理的な要因などもあるそうです。飲み込みのメカニズムや年齢を重ねていくことで生じる身体の変化を事前に知って備えておくことの大切さを楽しく学びながら、参加された方々の日頃の悩みやご自身が気を付けていることなどをおしゃべりしました。

こども食堂を地域の組合員さんと一緒に開催することで、ワーカーズを知ってもらいたい！

3月8日デポー松葉町のよりみちマルシェに、W.Coも参加し、キッチンカーでこども食堂を開催しました。子どもたちにはお弁当と、虹の街組合員の協力による食品の無料配布と、W.Co各事業所が惣菜・お弁当・コーヒーと焼菓子・手作り小物の販売をしながら、W.Coの活動をアピールしました。

W.Coそれぞれの事業所の仲間が顔を合わせ、協力しながら準備や運営に関わり笑顔と対話があふれる一日となりました。終了後メンバーでお弁当を食べながら話をして、理解を深めることができました。



居場所を開きたい方に向けて  
交流茶話会をひらきました

2月5日、居場所を開きたい方との「交流茶話会」をデポー新松戸で開催しました。居場所づくりに挑戦したい組合員さんたちに、起業情報を提供したのは、自然の食卓、紙ふうせん、ういす。それぞれ30年近い活動歴を披露しながら、貴重なアドバイスをしてくれました。いわく、「居場所ができるといろいろな人が自然に集まる」「思いを持って行動すれば、同じ思いの人と出会い、つながりが広がる」「人が集まるキーは食と子ども」等々。そんな先輩たちの助言を受けて、親子の居場所づくりを志す組合員さんとの新しい出会いもありました。（文責中島）